

台東区在宅療養支援窓口通信

令和元年8月号 No. 3

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



家族

足腰が弱っている母親が正座で過ごすことが増えたため、体の動かし方を教えて欲しい。

<支援内容>

相談者：家族（息子）。同居する母親についての相談、相談時介護保険申請中。

（電話対応）

本人の様子を確認したところ、下肢の浮腫み、体動時に息切れが見られるという情報から医療機関への受診を勧めた。本人が受診を拒否したため、自宅訪問へ切り替えて対応することとした。

（訪問対応）

即日、自宅を訪問し、健康チェックを行った。その結果、早急に受診が必要であったため、かかりつけ医と連携し、入院受入の調整を行った。

（対応結果）

救急搬送にて入院治療を受けることとなった。

<相談者の反応>

緊急受診について、かかりつけ医と受診先の医療機関と連携したことで、スムーズな受診につながり入院治療を受けることができたことに、家族は安心した様子で感謝の言葉が聴かれた。

ケースを振り返って

このケースは、母親の下肢の筋力低下を心配しての相談であったが、限られた情報のなかで、電話相談から自宅訪問へと対応を切り替え、直接、本人と面談することで、身体状況の把握に努めた。利用者の状況や生活状況を知るためには、現場へ出向くことが大切であり、マネジメントによって支援が遅れたりすることも考えられるため、今回のケースを通じて、緊急時の判断力や対応力・調整力が医療連携では求められることを改めて感じました。



在宅療養支援窓口では、在宅療養生活における医療面に関する様々な相談をお受けしています。ケアマネジャーに対して、医療的課題に関するマネジメントや医療関係者との連携についてのサポートも行っておりますので、是非窓口へご相談ください！



台東区在宅療養支援窓口 電話：5603-0235

受付時間：月～金曜 9時～17時、土曜9時～12時